

競技注意事項

1 競技規則について

本大会は、2017年度日本陸上競技連盟競技規則及び本大会の申し合わせ事項によって実施する。

2 招集について

(1) 招集所は、第2コーナー出入口付近に設ける。

(2) 招集開始時刻・完了時刻は、その種目の競技開始時刻を基準として下記のとおりとし、プログラムの競技日程に記載している。

種 目		招集開始	招集完了
トラック競技予選	1～3組	30分前	15分前
	4～6組	15分前	競技開始時刻
	7組以降	競技開始時刻	15分後
トラック競技 決勝 (5000m以外)		30分前	15分前
5000m 決勝	1組	30分前	15分前
	2組	15分前	競技開始時刻
跳躍競技		40分前	30分前
投てき競技 (ハンマー投・やり投)		50分前	40分前
投てき競技 (砲丸投・円盤投)		40分前	30分前

(3) 招集方法について

- ① 招集開始時刻に招集所で競技者係から点呼を受ける。その際、ナンバーカード・スパイク・商標及び持込物品について点検を受ける。トラック競技のみ腰ナンバー標識を受け取る。
- ② 代理人による最終点呼は認めない。2種目同時に兼ねて出場する競技者は、あらかじめその旨を本人または代理人が招集開始時刻までに招集所の競技者係に申し出る。
- ③ 招集完了時刻に遅れた競技者は、出場できない。
- ④ 出場種目を棄権する場合は招集開始時刻までに「棄権届」(招集所に準備)を招集所の競技者係に提出する。
- ⑤ リレー競技に出場するチームは、「オーダー用紙」(招集所に準備)を、各ラウンド第1組の招集完了時刻1時間前までに招集所の競技者係に提出する。

3 ナンバーカードについて

- (1) 一般、学生、中学生は県陸協指定のナンバーカードを使用する。
- (2) 高校生は県高体連陸上競技部会指定のナンバーカードを使用する。
- (3) トラック競技出場者は腰ナンバー標識をショーツまたは下半身の右側やや後方につける。3000m以上の競技の出場者は胸に特別ナンバーカードをつける。競技終了後、直ちに特別ナンバーカードを返却する。
- (4) 腰ナンバー標識及び特別ナンバーカードは招集所で配布する。

4 競技場内への入退場について

- (1) 点呼終了後、招集所から競技役員の誘導により競技場に入場する。
- (2) トラック競技の競技者はフィニッシュライン到着後、競技役員の指示により競技場退場口から退場する。また、入賞者は当該役員が表彰者控所に誘導する。
- (3) フィールド競技の競技者の退場については、競技役員の指示に従って退場する。また、入賞者は当該役員が表彰者控所に誘導する。

5 競技の抽選並びに番組編成について

- (1) トラック競技のレーン順、フィールド競技の試技順は、プログラムに記載した順による。
- (2) トラック競技の決勝については、主催者が公平に抽選によってレーン順を決め、その結果は招集所に掲示する。

- (3) タイムによる次のラウンドに進む出場者の決定について、最終枠に同記録がありレーン数が不足する時の処置は、写真判定主任が0.001秒単位の実時間を判定して出場者を決定する。それでも決定できない時は抽選とする。(競技規則第167条2)

6 競技について

- (1) トラック及びフィールド内にはその競技を行う競技者並びに競技役員、補助員以外は立ち入ることはできない。
- (2) トラック競技の計時はすべて写真判定装置を使用する。
- (3) レーンで行うトラック競技においては、欠場者のレーンは空ける。
- (4) 短距離走では競技者の安全のため、フィニッシュライン通過後も自分の割り当てられたレーン(曲走路)を走る。
- (5) 競技規則第167条7により、不正スタートをした競技者は1回目で失格とする。
- (6) スタートの合図は英語とする。(“On your marks” “Set”)
- (7) 4×100mRの第2、3、4走者は各自用意したマーカーを置くことができる。レース終了後は、第1、2、3走者がチームのマーカーを取り除く。
- (8) 4×400mRにおける第3、4走者は競技役員の指示に従い、前走者が200mスタート地点(黄色旗)を通過した順序で、内側から並び待機する。
- (9) 男子5000m決勝はタイムレースで行う。
- (10) 競歩競技については、制限時間を設定する。(男子30分以内、女子35分以内にラスト1周に入ること。)
- (11) 走高跳を除く跳躍競技、やり投の助走マークは主催者が用意したマーカーを使用することができる。走高跳のマーカーは各自用意すること。
- (12) 三段跳の踏切板は、砂場から男子11m、女子9mの地点に設置する。
- (13) フィールド競技における競技場内での練習は、すべて競技役員の指示に従う。
- (14) ふるさと選手制度を適用して国体種目に出場する他県陸協登録者の競技結果については、秋田陸上競技協会登録者と同様に取り扱う。ただし、秋田県選手権者については秋田陸上競技協会登録者のうち最上位の者とする。
- (15) オープン参加で出場する他県陸協登録者については予選の行われるトラック競技の決勝への進出、フィールド競技のトップ8への進出は認めない。

7 バーの上げ方について

- (1) 走高跳、棒高跳のバーの上げ方は、最後の一人になるまでは次のとおりとする。(ただし、天候やその他の条件によって変更することもある。その場合は、跳躍審判長が決定する。)

種目	区分	練習	1	2	3	4	5	6	
走高跳	男子	1.70/1.85	1.75	1.80	1.85	1.88	1.91	1.94	以後3cm
	女子	1.40/1.55	1.45	1.50	1.55	1.58	1.61	1.64	以後3cm
棒高跳	男子	3.40/4.00	3.60	3.80	4.00	4.10	4.20	4.30	以後10cm
	女子	跳躍審判長が選手の力量を把握の上決定する。							

- (2) 棒高跳の公式練習はゴムバーで行う。任意の高さ及びアップライトの位置で試技順に行う。

8 競技用具について

棒高跳用ポール以外、競技に使用する用具は主催者側が用意したものを使用しなければならない。練習用としても、個人の用具を場内に持ち込んではいない。

9 スパイクシューズについて(競技規則第143条2・3・4・5・6参照)

競技場は全天候舗装である。スパイクの長さは9mm以内、走高跳・やり投は12mm以内とする。いずれの場合もスパイクの数は、11本以内とする。

10 表彰について

各種目の表彰は第3位まで行う。入賞者は決勝終了後に表彰者控所で待機する。

11 一般注意事項

- (1) 競技場内（練習場も含む）に企業名・商標のついた物品を持ち込む場合は、規定に示すサイズを超えてはならない。
- (2) 応急処置、その他健康上の問題が生じた場合は、正面スタンド下の医務室に連絡する。
- (3) 競技場での疾病・傷害等の応急処置は主催者で行うが、以後の責任は負わない。
- (4) 更衣室は更衣のみに使用し、荷物は個人で管理する。
- (5) 大会参加に際して提供された個人情報、本大会活動に利用するものとし、これ以外の目的に利用することはない。
- (6) 災害時（地震発生を含む非常時）は慌てることなく、大会総務の指示に従って行動する。

練習会場の使用について

1 練習について

- (1) 練習は、各個人が指定された場所・時間で行い、事故防止には万全を期す。
- (2) 練習は担当競技役員の指示により、別項の「練習会場の使用について」のとおり安全に十分留意して行う。
- (3) 室内走路での練習は禁止する。

2 主競技場の練習について

- (1) 主競技場のレーンの使用区分については、次のとおりとする。ただし、当日の競技種目により区分を変更する場合もある。各レーンとも、第4コーナーからホームストレートへの交点付近は危険なので特に注意する。
<主競技場のレーンの使用区分>
 - ①周回1～2レーンはタイムトライアル用。
 - ②周回3～5レーンはリレーのバトンパスを含めた流し用。
 - ③第1曲走路からバックストレートの6～9レーンは400mH。
 - ④ホームストレート3～5レーンは短距離。
 - ⑤ホームストレート6～7レーンは100mH。（少B種目を含む）
 - ⑥ホームストレート8～9レーンは110mH。（少B種目を含む）
- (2) スターティングブロックやハードルなど練習に必要な用具は各自設置し、責任をもって片づける。

3 補助競技場の練習について

- (1) 補助競技場のレーンの使用区分については、次のとおりとする。ただし、当日の競技種目により区分を変更する場合もある。各レーンとも、第4コーナーからホームストレートへの交点付近は危険なので特に注意すること。
<補助競技場のレーンの使用区分>
 - ①周回1～2レーンはタイムトライアル用。
 - ②周回3～6レーンはリレーのバトンパスを含めた流し用。
 - ③第1曲走路からバックストレートの7～8レーンは400mH。
 - ④ホームストレート3～6レーンは短距離。
 - ⑤ホームストレート7～8レーンは100mH。（少B種目を含む）
 - ⑥ホームストレート9～10レーンは110mH。（少B種目を含む）
- (2) スターティングブロックやハードルなど練習に必要な用具は各自設置し、責任をもって片づける。

4 投てき練習場の練習について

- (1) 投てき練習については安全面に十分配慮し、各団体の監督の責任において行う。
- (2) 投てき練習は、競技注意事項に記載した時間以外は認めない。

5 練習会場使用日程は次のとおりとする。

◎主競技場

	トラック 種目	跳躍 種目	投てき種目
7月6日(木)	12:00～17:00		投てき練習には使用できません。
7月7日(金)	7:00～9:15 清掃終了後～16:30		
7月8日(土)	7:00～9:15 清掃終了後～17:00		
7月9日(日)	7:00～9:15 競技終了後は禁止		

◎補助競技場

	トラック 種目	跳躍 種目	投てき種目
7月6日(木)	12:00～17:00		投てき練習には使用できません。
7月7日(金)	7:00～16:30		
7月8日(土)	7:00～17:00		
7月9日(日)	7:00～競技終了まで		

◎投てき練習場

	トラック 種目	跳躍 種目	投てき種目			
			砲丸投	円盤投	ハンマー投	やり投
7月6日(木)	X		男12:00-17:00	男12:00-13:30	男13:30-15:30	男15:30-17:00
			女12:00-17:00	女12:00-13:30	女13:30-15:30	女15:30-17:00
7月7日(金)			男 7:30-16:30	男13:00-14:45	少男7:30-9:20	男14:45-16:30
			女 7:30-16:30	女13:00-14:45	女 9:20-11:30 男 9:30-12:50	女14:45-16:30
7月8日(土)			男 7:30-16:30	少男7:30-9:20	X	男13:20-16:30
			女 7:30-16:30	女 9:20-11:20 男11:20-13:20		女13:20-16:30
7月9日(日)			男 7:30-11:50	X	X	男 7:30- 9:10
			女 7:30- 9:20			女 9:20-11:40

○ スタッフ（補助員）について
参加各高校より協力をお願いします。（詳細は別紙）

○ 競技終了後の清掃

1日目	県北地区の高校
2日目	県南地区の高校
3日目	中央地区の高校